

AIAA ICSSC-21 Plenary-C

「衛星を利用したアジア-太平洋地域でのブロードバンドサービス」

本誌編集委員である風神裕が AIAA ICSSC-21 Plenary-C を主査。アジアの衛星通信事業会社を代表する 6 名の方々による「衛星を利用したアジア-太平洋地域でのブロードバンドサービス」をテーマとした講演。講演後、6 名の講演者と Plenary-C 議長を務めた Eui Koh 氏(現 APSCC 会長)を交えてのパネルディスカッション。

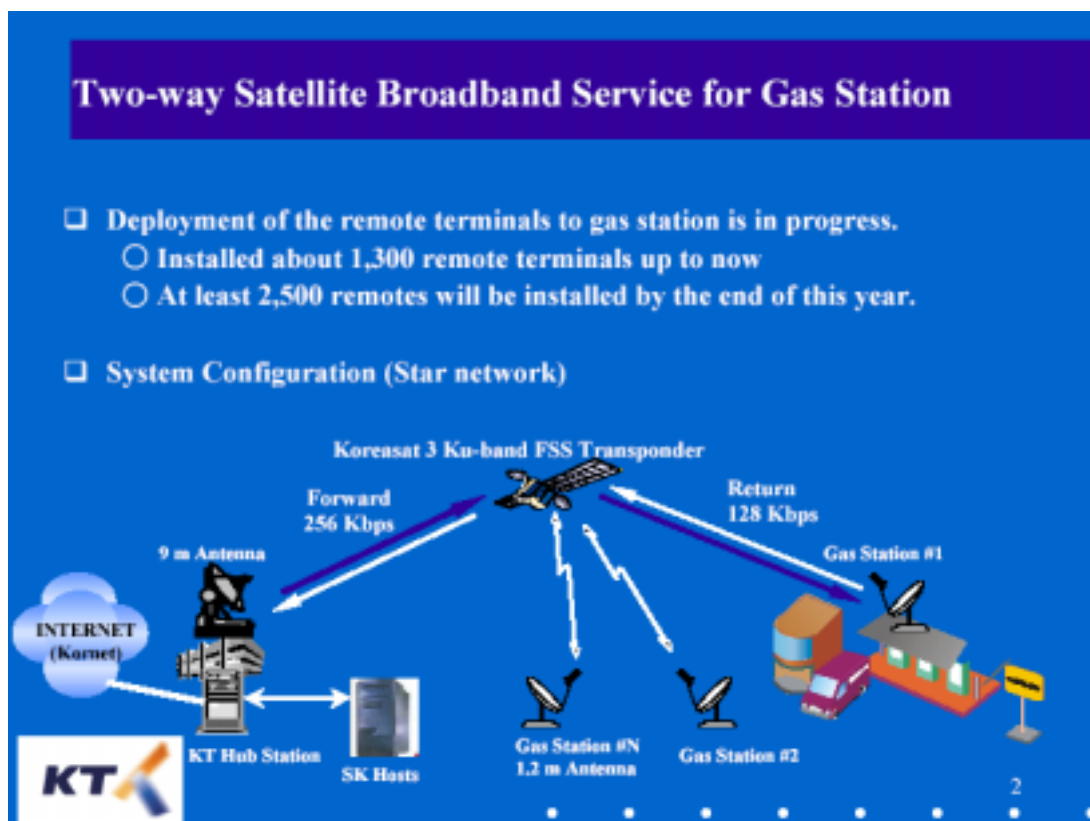
パネルディスカッション中、「どうして、アジア-太平洋地域でブロードバンドサービスが普及しないのか」という問いがあったが、講演者からは、1) 端末価格、2) 双方向サービスの不足が原因との一致した回答であった。更に、自然現象やテロリズム等の思いがけない災害による地上ネットワークの障害回復に、衛星通信が非常に役立つとの意見もあった。有意義な講演と活発な討論にて、Plenary-C は大成功であった。但し、「衛星を利用したアジア-太平洋地域でのブロードバンドサービス」まだ発展途上であり、始ったばかりである。

1. KT

Dr Yoon Young-Jon, Managing Director, KT



Dr Yoon Young-Jon, Managing Director, KT が KoreaSat-3 を用いたブロードバンドサービス事例として、韓国国内での KoreaSat ガソリンスタンドネットワークを紹介。



9mのハブ局を介して 1,200 軒の韓国国内のガソリンスタンドがスター型 VSAT で繋がれている。双方向システムであり、フォワード 256Kb、リターン 128Kb が 2.4 メートルの小型局にて実現。システム性能は非常に素晴らしいが、韓国国内に敷設された光ネットワークとの価格競争が課題である。

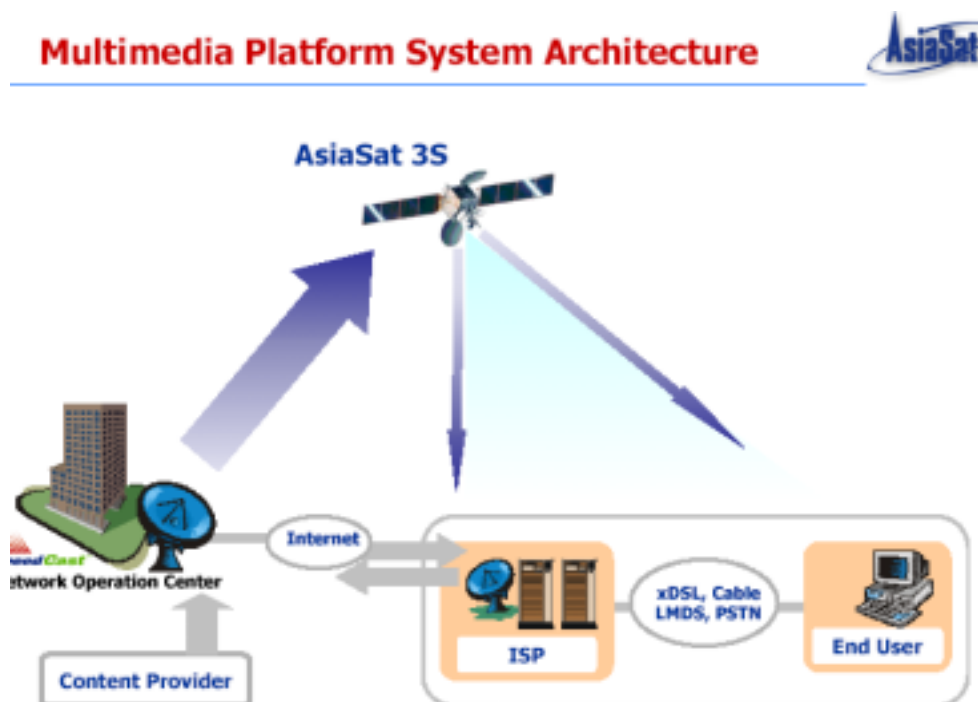
2. AsiaSat

Dr Ya-hui Chiu, General Manager Operations, AsiaSat

Dr Ya-hui Chiu, General Manager Operations, AsiaSat はブロードバンドサービスの需要が高いと報告。ビデオデータの配信の為にインターネットユーザーがより高速で、大容量を必要とする。また、エンドユーザーへの速やかな配信が主要な要因であることを強調。



AsiaSat-3を使用したブロードバンドサービスとして Speedcast を紹介。Speedcast は、アジア内で、2.4メートルの局にて、ブロードバンドサービスを提供。利用先は、教育機関、SOHO/SME、インターネットカフェ、ホテルチェーンであり、社内網ともネットワーク化。また、AsiaSat-4 衛星の打ち上げ成功を披露。



3. JSAT

Dr. Yutaka Nagai, Senior Executive Officer, JSAT

Broadband Service Via Satellite

- Challenges at JSAT in Japanese Market -



2003.4.16

Yutaka Nagai

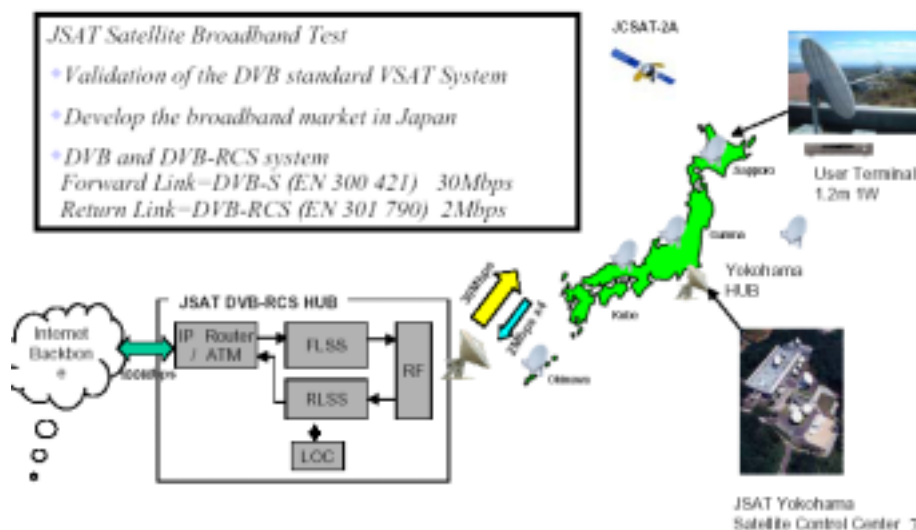
Senior Executive Officer

Business Development Group

JSAT Corporation

Dr. Yutaka Nagai, Senior Executive Officer, JSAT は DVB-RCS をベースとした広帯域超小型地上局ネットワークを紹介。JSAT-2 を用いて、日本国内にて 2.4 メートル局にて、フォワード 30Mb、リターン 2Mb のサービスを 2002 年に発表。

Broadband Satellite System Field Test



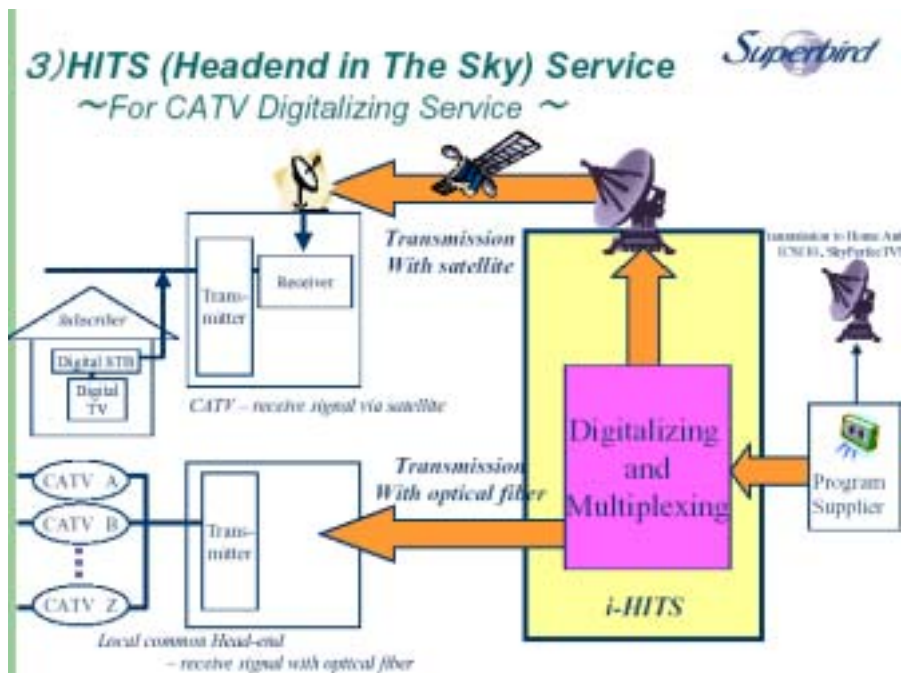
実証試験が 2003 年 2 月に開始、2003 年からのサービス提供を準備。利用先は、SHO/SME、政府機関のネットワーク、映像伝送、モバイル IP サービス、災害時の障害回復。

4. SCC

Dr. Hiroshi Kimura, Executive Vice President, SCC



Dr. Hiroshi Kimura, Executive Vice President, SCC は、保有する 4 衛星を用いた SCC の事業戦略を紹介。



また、IP をベースとしたブロードバンドコンテンツの配信を行う HitPos サービスネットワークを紹介。HitPops にて、CATV、xDSL、モバイル、企業内 LAN の様々なシステムに対し、ビデオ、オーディオ、ゲーム、ソフトウェアの配信が可能。また、VSAT をベースとした全国的な障害回復ネットワークが望まれ、衛星が理想的であると言及。

5. Binariang Satellite Systems

Dr. Ali Ebadi, Vice President Binariang Satellite Systems



Dr. Ali Ebadi, Vice President Binariang Satellite Systems は C-バンド、Ku バンドの衛星回線可能容量を示し、アジア-太平洋地域にて、供給過剰にあることを説明。

衛星通信事業会社は衛星メーカーを選べる立場にあり、価格は買い手市場と言及。また衛星メーカーと打ち上げロケットサービスプロバイダが多すぎると主張。MEASAT-1 と -2 の利用がほぼ一杯の為、MEASAT-3 を発注、2 年以内に打ち上げ予定。

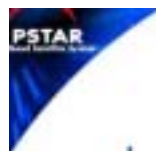


MARKET FORECAST

Transponder Demand (1996-2010)						
Based on 36 MHz Equivalent Bandwidth						
	1996	1997	1998	1999	2000	2005F
Transponder Utilization by Region						
North America	932	943	1112	1296	1464	1627
Latin America	408	432	511	590	629	803
Western Europe	727	751	825	910	984	1382
Central and Eastern Europe	173	130	180	248	339	499
Africa and Middle East	246	251	274	305	368	532
Southern Asia	161	162	164	174	196	268
Asia-Pacific Region	835	979	1038	1116	1190	1958
Total Utilization	3482	3639	4104	4639	5200	8904
Transponder Utilization by Application						
Voice and Data except Internet	1322	1393	1555	1717	2140	1996
Internet Linking	0	0	72	211	242	888
Direct Internet Access	0	1	11	23	62	643
Television and Video Feeds	2160	2245	2465	2688	2766	3985
Subtotal	3482	3639	4104	4639	5200	6494
On-Board Processing Capacity	0	0	0	0	0	32
Total Utilization	3482	3639	4104	4639	5200	8904
Percent Annual Change	4.4%	4.5%	12.8%	13.0%	12.1%	4.7%
Units Added per Year	+147	+157	+465	+535	+561	+476
Source: Eurocomsat - Satellite Communications & Broadcasting Market Survey (Worldwide Prospects to 2010)						

6. Shin Satellite

Dr. Nongluck Phinaitisart, President Shin Satellite



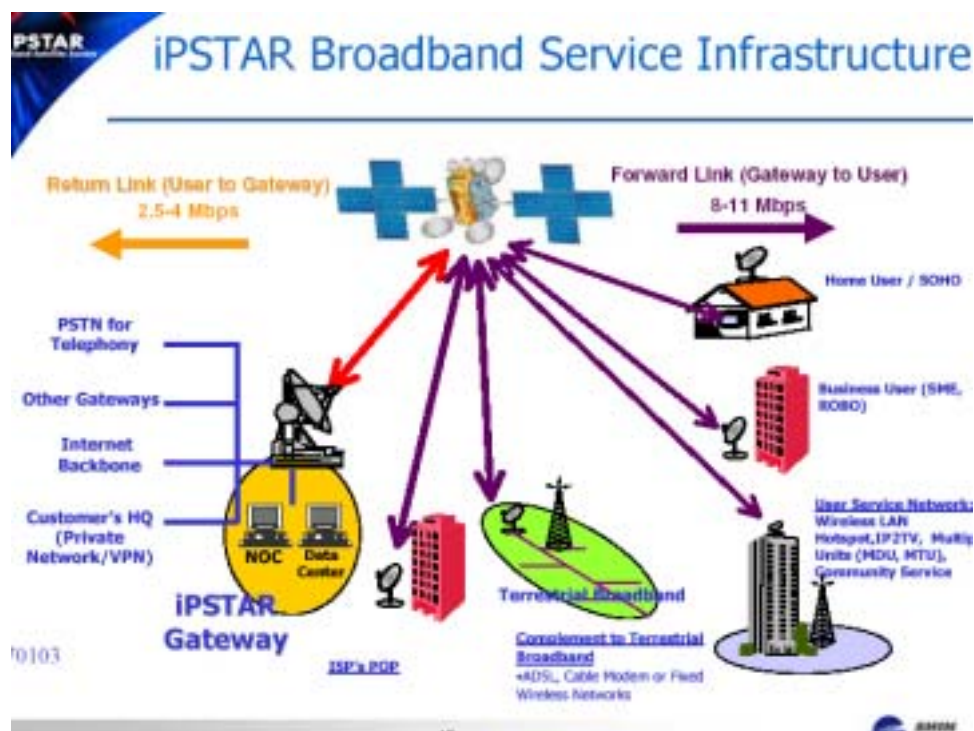
iPSTAR Introduction

Nongluck Phinaitisart, D. Eng
President
Shin Satellite PLC.

AIAA 21st. International Communications Satellite
Systems, Conference and Exhibit
April 15-19, 2003 Pacifico Yokohama,
Yokohama, Japan



Dr. Nongluck Phinainitisart, President Shin Satellite は、iPStar 衛星とそのサービスを紹介。



通常の通信衛星では 2Gb の回線容量であるが、iPSTAR では最新技術により 45GB の容量が可能。革新的で、特別な技術を用いた衛星にて、アジア内で、大容量双方向ブロードバンドサービスを提供可能と確信。